



平成 27 年 5 月 7 日

会 社 名 シノブフーズ株式会社
代 表 者 代表取締役社長 松 本 崇 志
(コード 2903 東証第 2 部)
問 合 せ 先 執行役員管理本部副本部長 長尾 正史
(TEL. 06-6477-0113)

中期経営計画の概要について

当社は、2016 年 3 月期から 2020 年 3 月期までの 5 カ年の中期経営計画を策定しましたので、お知らせします。

記

1. 経営理念（当社グループがめざす姿）

〔経営理念〕

・『おいしさと楽しさ』をモットーに、消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざしてまいります。

2. 環境変化予測

中期経営計画期間中の環境変化を次のように捉えております。

中期的には賃上げ等により消費マインドは改善され、消費は回復すると見込まれますが、少子高齢化の傾向は変わらないため国内消費の大きな拡大には至らないものと考えます。また、高齢化、単身世帯の増加により、消費者ニーズにおいて健康志向は強まり、個食化は進む一方で、食の安全性への関心は依然高いものとなることが予想されます。

3. 中期経営計画における基本戦略

当社グループでは経営理念を実現するために収益基盤の強化を図ることが重要と捉え、4つの基本戦略をもとに取り組んでまいります。

【4つの基本戦略】

I：販売戦略 【継続的な売上成長】

健康志向など消費者ニーズに応え、取引先の業績に貢献できる商品を提供するための「商品開発力」を高めるとともに、安全・安心な商品を提供する体制を強化し、継続的な売上成長に取り組んでまいります。

II：コスト戦略【コスト競争力の強化】

収益力を強化するため、本社購買部を軸に全社横串でのコスト削減に取り組む「購買力強化」や生産効率の高い生産機器の導入など「生産性改善に向けた設備投資」を行うとともに、管理面において早期経営情報の把握や製造管理の精度向上をめざした「統合データベースの構築」に取り組み、コスト競争力の強化に挑んでまいります。

III：人財戦略【人材の育成】

生産現場を支えるパートタイム・アルバイト従業員や会社運営を担う社員を人財として捉え、モチベーションの向上や働きやすい職場づくりのための労働環境の整備や風土づくりを礎に「現場力強化」に取り組むとともに、将来にわたり企業として継続していくために、計画的なローテーションの実施や評価基準を明確にし「次世代の人材育成」を行ってまいります。

IV：環境戦略【環境への取り組み】

企業としての社会的責任を果たすためにも、「法的基準の遵守・管理」を継続していくことはもちろん、太陽光パネルの設置や省エネ効果の高い生産機器の導入による電気使用量の削減、食品残渣の削減やリサイクルの推進により、「事業活動を通じた環境負荷への軽減」を図ってまいります。

4. 中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、創業50年を迎える第50期において売上高500億円、経常利益率3.8%をめざしてまいります。

【数値目標】

2020年3月期

売上高 500億円

経常利益率 3.8%

以上

[本資料に関する注記事項]

本資料における業績目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、さまざまな不確定要素が内在しております。実際の業績等はさまざまな要因により本資料記載のものと異なる可能性があります。

したがって、本資料の利用は利用者の判断によって行いますようお願いいたします。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識いただきますようお願い申し上げます。